

あさぎや楽がくのすすめ

阿佐ヶ谷の地名は、桃園川の浅い谷地だったことに由来していると言われ、「浅い谷」から「浅が谷」、のちに「阿佐ヶ谷」となった説があります。現在は「阿佐ヶ谷」「阿佐谷」の両方が用いられていますが、昭和四十（一九六五）年、住居表示法に基づき「阿佐谷」に統一されました。住所や公文書には「阿佐谷」が、駅名などには「阿佐ヶ谷」が使われています。

『あさがや楽』のタイトルは、阿佐ヶ谷の表記が複数あるように、さまざまな視点から楽しんで欲しいという思いを込め、ひらがなで表記しました。

第二号も気楽に読み進めていただければ幸いです。

平成二七年二月十一日

阿佐谷図書館館長 黒谷晴子

目次

あさがや楽のすすめ	1
あさがや楽巻頭エッセイ	
「阿佐ヶ谷暮らし八〇年」——谷川俊太郎	2
BOOK GUIDE 谷川俊太郎さんの本棚	5
阿佐ヶ谷・荻窪界隈の文化人 児童文学者編	
「かつら文庫」を主宰した石井桃子	6
WHO'S WHO 石井桃子を知るには	8
阿佐ヶ谷・荻窪界隈の文化人 作曲家編	
作曲と教育に情熱を燃やして草川信	10
阿佐ヶ谷・荻窪界隈の文化人 作詞家編	
医学と創作の世界に生きて 都築益世	12
ASAGAYAI YAI	
中学生がえらんだイチオシ本	14
子どもの成長と絵本	
「自立して生きる門出のために」——西内ミナミ	16
執筆者紹介	20